

科目名	授業時数	教科書名	副教材名
中学1年 美術	2	美術1（光村図書）	画用紙 ポスターカラー等

### 1. 授業の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

### 2. 授業のすすめ方

- ・題材ごとに新たな事項を学習してから制作し、題材終了時に作品を提出する。制作にあたっては、ワークシートやアイデアスケッチを通して構想を練り、見通しを持って取り組む。
- ・鑑賞の授業では、まず対話型鑑賞を行ってから、歴史背景や作品の技法について学習する。
- ・全体への説明の他に個人添削や机間巡視を行い、生徒それぞれの意図や工夫に応じた指導を行う。
- ・グループでの鑑賞や話し合い等、アクティブラーニングを適宜取り入れる。

### 3. 学習上の留意点

- ・個々の材料や道具には記名をして管理すること。
- ・自分も他者も集中して授業に取り組めるように気を配り、準備や後片付けを徹底すること。
- ・提出物の期限を遵守すること。

### 4. 副教材・参考書

- ・画用紙、ポスターカラー、木材、石粉粘土等、基本的な材料等は授業時に配付する。
- ・題材によっては、上記に加えて各人で素材を持参する。
- ・生徒の意図に応じて、美術室内本棚の図鑑や図書を参考文献として自由に参照できる。

### 5. 評価方法

課題作品（60％程度）、準備段階のスケッチ・鑑賞ワークシート等の提出物・授業態度（40％程度）から総合的に判断して評価する。

また、上記を基に「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について学年末に評価する。

### 6. 定期考査

実施しない。

指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
学 期	四月	素描・スケッチ * 鉛筆による素描の技法や工程について学習する。 * 体育館シューズを画用紙に鉛筆を使って素描する。 * 体育館シューズをよく触り、細部まで観察して素描する。	授業姿勢、 作品やワークシート等 提出課題の 成績を総合 的に勘案す る。	○鉛筆の技法を理解し、モチーフの形と陰影を自分なりに観察して制作する。
	五月	鑑賞 「風神雷神図屏風（俵屋宗達）」 * iPad を活用して風神雷神図屏風を鑑賞する。 * 自分の考えたことや感じたことを他者に伝える。 * 他者の考えを聞いて、作品の見方を広げる。 * 作品の作られた背景について学習する。		○作品を見て造形的な良さや美しさを味わう。感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作品の見方を広げる。
	六月	絵画 「自分が幸せだと感じる時」の制作 * 文章やアイデアスケッチで作品の構想を練る。 * ポスターカラーの使い方について学習する。 * アイデアスケッチを基に、iPad を活用して着彩完成状態の見通しを持つ。 * ポスターカラーで着彩して制作する。意図に応じて、身近にある素材やパッケージなどから好きなデザインや模様を見つけ出し、コラージュのパーツとして活用する。		○自分が幸せを感じる瞬間から主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、構成を工夫して構想を練る。 ○自分の描きたいイメージに合った材料を選択し、意図に応じて工夫して表現する。 ○ポスターカラーの使い方を理解し、道具の使い方を工夫して表現する。
	七月	一学期の講評、作品の鑑賞		○作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。
学 期	九月	色彩の学習 * 色彩の概念を学ぶ。 * 生活体験を振り返りながら、色や光の三要素や色彩について iPad と電子黒板を用いて学習する。	授業姿勢、 作品やワークシート等 提出課題の 成績を総合 的に勘案す る。	○色の特性や、色の与える印象の違いを理解する。
	十月	デザイン 「自分を表すマーク」の制作 * 色彩の学習を生かし、自分自身を表すマークをデザインする。 * iPad を自由に活用し、デジタルイラストで表現する。 * 作成したマークをどのように利用するか検討する。		○マークに込める意味や伝えたい内容などをもとに主題を生み出す。 ○主題をもとに構想を練り、形や色、構成などを工夫して制作する。
	十一月	絵画 「色面構成(平面構成)」の制作 * 直線や曲線によって受ける印象を学び、抽象的な表現について理解を深める。 * 直線や曲線、円などの形態を組み合わせた構成を考える。 * 類似・補色など日常で目にするものを振り返りながら配色を工夫する。		○抽象的な表現に関心を持ち、言葉や音楽などを手がかりに主題を生み出す。 ○主題をもとに、形や色、材料などの構想を練り、工夫して制作する。
期	十二月	二学期の講評、作品の鑑賞	○作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	
学 期	一月	立体作品 「ジオラマ」の制作 * 立体の構造を考えながら、アイデアスケッチを作成する。 * 作品の完成に至るまでの工程を見通し、制作計画を立てる。 * はがき大の板を台座とし、石粉粘土でジオラマ（情景）作品を制作する。	授業姿勢、 作品やワークシート等 提出課題の 成績を総合 的に勘案す る。	○自然の情景や自分の想像上の景色から主題を生み出す。 ○アイデアスケッチを基に制作工程を想像し、見通しを持って制作する。
	二月	* 立体的な構成や、台座への設置による見え方の変化を理解し、自分なりに工夫する。 * ポスターカラーで着彩する。意図に応じてニス等で表面の質感を作り、紙・綿・リボンなど適宜に様々な素材を組み合わせる。		○既習事項（ポスターカラーの使い方・色や形による印象の違い）を活かして、道具の使い方を工夫して表現する。
	三月	* 他者の作品を鑑賞し、自分の感じたことや考えたことを作者に伝える。		○立体的な構成の違いによる印象の変化を考えながら、設置や材料を工夫して制作する。 ○作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。
期	三月	三学期の講評		

※シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。